

## 「持続可能なエネルギー社会 (自律・分散型自律エネルギー社会) について」

白根 武史

新しい東北を創造していくためには、新たなエネルギー施策は必要であるが、創出したエネルギーを産業と連携させ、地域経済を活性化させることが重要である。

## 1. 背景

## 1) 東北の背骨を太くする

東北にもものづくり企業を誘致することで、経済基盤を確固たるものにする。

## 2) 東北でのコスト競争力の向上

地場のものづくりを振興させるためには、大きなインセンティブが必要。

## 2. 課題

## 1) エネルギーの低コスト化

素形材 (鋳造、鍛造、アルミダイカスト等) の企業が集えば、  
後工程 (加工、組付け等) の企業が集積する。



素形材部品: 製造原価に占めるエネルギーコストの割合は高い。

## 2) 多様な電気エネルギーを地域で、安定的かつ効率的に受給しやすくするための制度の見直し

## 3. 提言

## &lt; 短期 &gt;

## 1) 都市ガス価格差の是正

全国平均と比べて、高価な都市ガス価格を低減するための措置

## 2) 分散型電源に対するインセンティブの拡充

ガスコージェネレーション等の分散型電源導入に対する補助制度の拡充

〔 「ガスコージェネレーション推進事業費補助金」(資源エネルギー庁)  
現行の補助率: 地方自治体等: 1/2 以内、民間団体: 補助率 1/3 以内 〕

工業団地を核とした効率的な電力の使い方を東北各地で展開されることが良い。

## &lt; 中長期 &gt;

## 1) 国内ガスパイプラインのネットワーク化

国内のガスパイプラインを整備・ネットワーク化することにより、安価な都市ガスの供給が実現。

## 2) 国際天然ガスパイプラインの整備

国際的な天然ガスパイプラインの整備により、海外ガス田から直接、天然ガスを調達する。

LNG・天然ガス双方の選択肢を持つことにより、調達価格の低減を実現。